

【PHP】

WordPressの外観をカスタマイズ できるようになる為のプチレッスン

[未経験から目指すウェブクリエイター](#)

■ はじめに

このレポートの利用に際しては、以下の条件を遵守してください。

このレポートに含まれる一切の内容に関する著作権は、レポート作成者に帰属し、日本の著作権法や国際条約などで保護されています。

著作権法上、認められた場合を除き、著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を、複製、転載、販売、その他の二次利用行為を行うことを禁じます。

これに違反する行為を行った場合には、関係法令に基づき、民事、刑事を問わず法的責任を負うことがあります。

レポート作成者は、このレポートの内容の正確性、安全性、有用性等について、一切の保証を与えるものではありません。また、このレポートに含まれる情報及び内容の利用によって、直接・間接的に生じた損害について一切の責任を負わないものとします。

このレポートの使用に当たっては、以上にご同意いただいた上、ご自身の責任のもとご活用いただきますようお願いいたします。

Codropsで無料ダウンロードできる楽器サイトのリメイク方

■ 目次

- [1 PHPの基礎](#)
- [2 実際のソースに触れる](#)
- [3 PHPを動かす為の第一歩](#)
- [4 実践して覚える](#)

一緒に頑張ろうね！🎵



■ PHPの基礎

今回は、WordPressで一番使われているプログラミング言語、PHPについてです。

このブログを始めてから既に4ヶ月経ちましたので、

そろそろカスタマイズについても実践して身につけたい所です。

まずは

1. HTMLとの大きな違いについて知る
2. 動的ページの役割を理解する

1. HTMLとの大きな違いは、PHPでプログラムを記述すると動的なページになるということです。

動的、つまり人間間でいうところの対話だと私は思っています。

IT苦手意識を持っている人について・・・ 一体何が苦手なのかを私なりに考えてみた事があります。

それは、大抵の場合 コンピューターを「モノ」としてみているので冷たくて理解し難いものだという認識を持ってしまっているのかと思います。

実際コンピューターはモノであり、人間の様な血の通った生き物ではありませんね。

でも、CPUとって、人間と同じ、もしくはもっともっと賢い頭脳を持っています。

コンピューターの意味を調べると計算機という答えがあります。

なるほどそうですね！これを頭に入れておいて先に進みましょう。

■ 実際のソースに触れる

では早速、次のソースを見てください。

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3   <head>
4     <meta charset="utf-8" />
5     <title>PHPスクリプトの習得</title>
6   </head>
7   <body>
8     <?php
9       print('ハローワールド!<br />');
10      print('ハロー PHP! ');
11     ?>
12   </body>
13 </html>
```

HTMLがどこで、PHPがどこなのかという事に注目してください。
PHPは bodyタグ以下から始まっています。

<?php 改行 print ~ ?>

<?> でPHPを書き始めるという宣言をし、

`print`で「Webブラウザに表示させよ」という指示をしています。

次に、

```
(‘表示させたい文字を記述’) ; // コンマで終了  
?> // PHPを閉じる
```

これで、カッコの中にWebブラウザに表示させる文字を指定しています。

少し余談になりますが、HTMLとの大きな違いがあります。

それは「HTMLファイルの内容は、Webブラウザを使って誰でも見ることができるけど、PHPのソース内容は作った人しか見ることができない」という点です。

言い換えると、プログラムを見ず知らずの人に盗まれない！ソースです。

なので逆に言えば、HTMLファイルはインターネットユーザーの誰かに盗まれる可能性に溢れています。

■ PHPを動かす為の第一歩

では、このPHPというプログラムを動かす為に大切なことは何でしょうか。

ファイルの拡張子に `.php` と付けることです。こうして初めてPHP

ファイルとして動かすことができます。

そしてもう一つが「環境」です。

ローカル開発環境というWEBサーバーを自分のパソコンに作ってようやく、WEBブラウザを通して目で確認できます。

先ほども触れましたが、HTMLよりも簡単な、書き方についてのルールがあります。

それは `<? から初めて ?>` で終わるというルールです。

これはいつでもどんなときでもこのルールが適用されますので、必ず覚えておきましょう♪

2行になる場合もあれば、10行になる場合もありますし、それ以上でもいくらでも書くことができます。

興味がある人ほど習得する速度も早く、覚えられると思います。^^

■ 実践して覚える

ローカル開発環境で動かしてみたり、サーバーにアップしてみるとできた！という感覚が掴めて楽しくなって来ます。

実際にアップしてPHPを動かしてみることで、モチベーションも保てます。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//
EN">
<html>
<head>
```

```
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
<title>できる！PHPプログラミング</title>
</head>

<body>
お問い合わせ<br><br>
<form method="post" action="next.php">
お名前<br>
<input name="onamae" type="text1" style="width:300px"><br>
メールアドレス<br>
<input name="mailaddress" type="text2" style="width:300px"><br>
メールアドレス（確認用）<br>
<input name="mailaddress2" type="text3" style="width:300px"><br>
お問い合わせ内容<br>
<textarea name="otoiawase" type="text4" style="width:340px;
height:120px"></textarea><br>
<input type="submit" style="width:60px" value="次へ">
</form>

</body>
</html>
```

上記のソースと同じファイルをそのままコピーして、テキストエディタにペーストし、拡張子は、htmlにしてみましょう。

PHPファイルは、今回はそのまま使って内容を確認して見ましょう。下記のリンクをクリックしてダウンロードしてください。

~~[/next.php](#) / [thanks.php](#)~~

https://github.com/yukyco/contact_form.git

上記のhtmlファイルにある通り、**action**に**next.php**がリンクされているので、ウェブサーバーに内容を送信できるという仕組みですね。

テキストエディタで、内容が確認できましたら、

無料のサーバーでアカウントを作って、アップロードしてみましよう。

エックスサーバーフリー：<https://secure.xfree.ne.jp/>

メールアドレスだけでアカウントが作れます。

管理画面パネルにログインするとファイルをアップロードできます。



WEBブラウザで確認してみてください。以下の様になったら成功です。

>> サンプルデモページ

お疲れ様でした。^-^/



最後までお読みくださりありがとうございました。

- 発行責任者：Themify 研究所 浜辺 友紀子
- 運営サイト：<https://good-inspiration.com/lp>
- お問い合わせ先：info@good-inspiration.com
- 運営者情報：<https://good-inspiration.com/e-learning/tokudenhou/>